

中学生区分

優秀賞

さいたま市

さいたま市立日進中学校 一年

高橋 潤矢

色覚異常だから見える世界

ぼくは、先天性色覚異常で、色の見え方が多くの人たちとはちがっている。

先天性色覚異常の人は決して少なくはなく、日本人では男性の約二十人に一人、女性の約五百人に一人がこの障害を持っている。色覚異常者はLEDでない信号や、お肉の焼き加減などの判別が難しく、絵の具や色鉛筆などの色の区別もつきづらい。ぼくは小さいころから、信号は色ではなく光っている位置や形を覚えて止まったり渡ったりしているし、お肉の焼き加減や絵の具などの色は、家族や友達に教えてもらうようにしている。

また、色覚異常者は職業にも多くの制限がある。ぼくはそのために、宇宙飛行士になりたいという将来の夢をあきらめなくてはいけなくなった。小学一年生の時だった。落ち込んでいたぼくに、母が言ってくれた言葉が、今でも忘れられない。

とても興味を持って聞いてくれて、中には、

「家族が色覚異常だから、どんな研究なのか 気になって見に来た。」

と言ってくれる人もいた。ぼくの研究や経験が、誰かの役に立つかもしれないと思い、とてもやりがいを感じた。

このようにして、ぼくは最近まで、色覚異常者の色の判別能力の向上を目的として研究を続けてきた。しかし、色覚異常には様々なタイプがあり、その中には色をほとんど判別できないものもある。色覚異常者自身の工夫だけでは限界があると、次第に感じるようになってきた。やはり、多くの人に色覚異常という障害について知ってもらい、カラーユニバーサルデザインのような配慮が広がっていくことは、重要だ。その考えから、ぼくは現在、色覚異常について楽しく学べるゲームをスクラッチで制作している。完成したら公開して、多くの人に遊んでもらいたいと考えている。

色覚異常は軽度のものも多く、社会では深刻な障害として見なされてはいない。しかし、不便や困難を感じている人はたくさんいる。ぼくは、色覚異常者が快適に安全に生活していける工夫や、カラーユニバーサルデザインのような配慮を広める努力を、これからも続けていきたい。そう思えるのは、あの日の母の言葉

「ゴッホって、色覚異常だったかもしれないんだって。」
ゴッホはぼくが大好きな画家だ。母は続けた。

「もしかしたらあなたは、ゴッホが本当に描きたかった色が見えているのかもしれないね。いいね。」

その言葉を聞いたとき、心がふっと軽くなった気がした。自分の見ている世界が、もしかしたら特別なものなのかもしれない。そう思うと、悲しさが少しずつ消えていき、前を向く気持ちがわいてきた。色覚異常についての本を読んだり、カラーユニバーサルデザインについて勉強したり、自分の障害を理解して受け入れていくようになった。

二年前から、ぼくは色覚異常についての研究をするようになった。色覚異常者でも色の判別がしやすい「カラーユニバーサルデザインクレヨン」を製作したり、「焼き肉の色を判別しやすくなるライト」を研究したりして、発表の機会を得た。すると、友達や先生方は

と、ぼくの障害を温かく支え、見守ってくれる家族、

友達、先生方など周りの人たちのおかげだ。色覚異常で産まれたからこそ、ぼくは多くの経験を積むことができたし、これからの目標も尽きることはない。

つい先日、ぼくは母にこう言った。

「お母さん、ぼくを色覚異常に産んでくれてありがとう。」

母は驚いた顔をして、それから、

「そんなことを言ってくれる子は、なかなかいないだろうね。」

と嬉しそうに言った。

中学生区分

優秀賞

京都府

ながおかまろう
長岡京市立長岡第三中学校 二年
ふじえだ なつき
藤枝 夏樹

ハードルではなく特徴なんだ

とくちよう

私の姉は車椅子で生活している。姉が中学生の時病気がもとで両足が動かなくなってしまった。

姉も私たち家族も急に車椅子の生活になってとても大変なことが多かった。段差のある所には行けないので階段しかない場所やお店に行くことはできない。電車やバスに乗るにも助けが必要になった。どこに行くにも、何をするにも助けが必要で姉にとってはとても苦しい日々が続いた。

そんな中でも姉は中学へ頑張って通ってできることを一つ一つ増やしていった。もともと明るい性格の姉は、車椅子の姉を気にしない友達をどんどん増やしていった。そんな努力が実って姉は高校二年生の時に全校生徒千五百人の中から生徒会長に選ばれた。

自分が中学生になった今、私は部活や勉強で精一杯なので高校で生徒会長になるなんて考えられない。姉がどんなにすごいことを成し遂げたのかよく分かるよ

取りのしにくさを味わった。色々な不便を知ることができて良かったと思う。

私はいつも仲間に囲まれていきいきと活動する姉を見て、姉にとって障害を越えるべきハードルではなく特徴にすぎないのだなと思うようになった。その特徴を武器にして、新しい視点を持って世の中の常識に挑戦し続ける姉をととても誇らしく思う。

私は平凡な中学生だけど、姉を通して新しい視点を持つことができたと思う。今できることを一生懸命にして、いつか姉に追いつき追い越せるようになりたいと思う。

うになった。

姉は更に努力を続け、毎日駅員さんをお願いをして電車に乗せてもらい、一人で大学に通えるようになった。

大学では仲間を集めてバリア体験カフェを運営するようになった。姉は買い物をする時に段差や高さで不便を感じていた。よく周囲を観察すると目の見えない人や耳が聞こえにくい人など、様々な障害のある人が日常で色々な不便を感じていることに気がついた。

それを友達に話すと「どんなことが不便か分からなから教えて欲しい」と言われたことがきっかけで、バリア（障害）を体験してみるカフェを運営することにした。バリア体験カフェはとても好評で、私も何度か訪れ美味しい飲み物をバリアを感じながら買う体験をした。目の見えにくい体験ではいかにメニューが読みにくいかわかった。耳が聞こえにくい体験ではやり

中学生区分

優秀賞

長崎県

美貴 優里

純心中学校 三年

支え合いの温かさ

「どうして来たの？」

その一言が、私にとって大きな違和感でした。私が通っていた小学校には特別支援学級があり、特性のある子は通常学級と支援学級の両方に所属していました。ある日、その子が通常学級に来たとき、友達が嫌そうな顔で言ったのがこの言葉でした。

その出来事をきっかけに、インクルーシブに疑問を持つようになりました。そして、「もっと特性のある子のことを知りたい」という気持ちが芽生え、次第に将来の夢は支援学級の先生になることへと変わっていききました。

中学生になり、職場訪問で小学校に訪れたとき、先生から直接お話を伺いました。特性のある子に教育者としてどのような支援や働きかけをしているのかを真剣に語ってくださり、障害に対する社会の考え方が変わりつつあることも知りました。その経験を通して、

さんある。だからこそ、自分で選択し、自分で行動する力を育てることが大切だ」と教えてくださりました。デイサービスがただの預かり場所ではなく、一人ひとりにあった教育を行い、将来の自立につなげる場であることを強く実感しました。

私も先生の姿勢を意識し、子どもに「何をしたい？」と聞いたり、選択肢を示したりして、自分で考え選ぶ機会を尊重しました。しかし、振り返ると大きな反省点がありました。それは最後まで任せきれなかったことです。工作をするとき、時間がかかる子に「代わりにしようか？」と声をかけてしまったのです。本来なら完成まで見守り、達成感を味わわせることが大切でした。手助けは一見優しさに見えますが、それが必ずしも相手のためになるとは限らないと気づき、深く反省しました。

また、先生の紹介でペアレントメンターの方にお話を伺いました。自分の子どもの特性や子育てでの苦労、そして「学校やデイサービス、病院が真剣に自分の子供に向き合ってくれた」という思いを聞き、「教育」は先生だけでなく、家庭や地域、さまざまな人の思いで成り立っているのだと実感しました。

今回の活動を通して、私は「教育とは何か」を考えることができました。授業がある学校だけでなく、デ

私の夢はさらに確かなものになっていきました。

そして、今年の夏休み、私は放課後等デイサービスで四日間、特性のある子どもたちと生活をともにしました。そこは知的障害や発達障害、自閉症など内面的なハンディキャップを持つ子が通う小さな施設でした。二歳から小学生高学年までの子供と、カードゲームやアイロンビーズなどを通して一日中関わりました。

特に印象に残ったのは人生ゲームでのお金のやり取りです。私は「特性のある子は学習が遅れていることが多い」という先入観を持っていました。しかし実際には、銀行係を積極的に務めたり、複雑な両替を難なくこなしたりする姿があり、そのイメージは大きく覆されました。先生に聞いてみると、「子どものうちは見守ってくれる人が多いが、大人になるとそうはいかない。特性があるとさらにこれから大変なことがたく

イサービスでも一人ひとりにあった学びや支援が行われ、家庭でも保護者が子どもが一番の応援団長として見守っている。教育は、多くの人が関わり、心を寄せ合うことで成り立つのだと気づきました。

私は今回の研修で、教育に関わる人々の思いや繋がりを通して「心の輪の広がり」を間近に感じました。そしてその輪の中に、将来は自分も加わりたいと強く思いました。もちろん反省点もあります。だからこそ今後は教育について学ぶだけでなく、自分自身を見つめ直すことも大切にしていきたいと思います。これからも私自身も周囲の人々に見守られ、支えられながら、努力をし、心の輪を広げていきたいです。